

## 第17回「淀川水系ダム事業費等監理委員会」議事録

■開催日時：令和4年9月20日（火）10：30～12：00

■開催場所：TKP ガーデンシティ京都タワーホテル9階【飛雲】  
（京都府京都市下京区烏丸通七条下ル東塩小路町 721-1）

■委員：岸田 潔（京都大学大学院工学研究科 教授）  
角 哲也（京都大学防災研究所水資源環境研究センター 教授）  
諏訪 義雄（国立研究開発法人土木研究所 河道保全研究グループ長）web 参加  
野村 良一（立命館大学経済学部経済学科 教授）  
◎深川 良一（立命館大学理工学部 特命教授）  
◎印は委員長（50音順・敬称略）

■オブザーバー： 滋賀県・京都府・大阪府・関西電力株式会社・阪神水道企業団

### ■議事概要：

委員会は委員5名全員の出席により、事務局から天ヶ瀬ダム再開発事業、大戸川ダム建設事業、川上ダム建設事業、丹生ダム建設事業の廃止に伴う整備について、事業概要、事業進捗状況、コスト縮減項目等の説明を行い、各委員より意見及び助言を頂いた。

### ■天ヶ瀬ダム再開発事業について

（委員の主な意見）

1. 事業概要（意見なし）
2. 事業の進捗状況（意見なし）
3. コスト縮減項目（意見なし）
4. 本事業への助言
  - ・今後の他ダムの再開発において本事業の知見が活かせるよう、当初計画と最終形の比較や本事業の特殊性等について評価を行い、整理しておくこと。
  - ・引き続きトンネル式放流設備の運用により、放流機能の確認を十分に実施しておくこと。

### ■大戸川ダム建設事業について

（委員の主な意見）

1. 事業概要（意見なし）
2. 事業の進捗状況（意見なし）
3. コスト縮減項目（意見なし）
4. 本事業への助言
  - ・放流設備の水理設計においては、出来るだけ概略設計段階から水理模型実験を実施するなど、効率的な検討を行うこと。
  - ・流砂の管理については、大戸川ダムだけでなく、下流に位置する天ヶ瀬ダムや宇治川

を含む上下流一体となった全体ストーリーを早期に整理したうえで検討を行うこと。

■川上ダム建設事業について

(委員の主な意見)

1. 事業概要 (意見なし)
2. 事業の進捗状況 (意見なし)
3. コスト縮減項目 (意見なし)
4. 本事業への助言
  - ・他事業へ知見が活かせるよう、事業費の大幅な縮減理由などについて整理すること。
  - ・DX、働き方改革などの情勢を踏まえつつ、後発事業の参考になるよう川上ダムで得られた知見について整理・検討すること。

■丹生ダム建設事業の廃止に伴う整備について

(委員の主な意見)

1. 事業概要 (意見なし)
2. 事業の進捗状況 (意見なし)
3. コスト縮減項目 (意見なし)
4. 本事業への助言 (意見なし)

(以上)